

特別講座

福井県の取材・訪問を25年間続けてきた「福井愛の第一人者」が、ノンフィクション作家、科学ジャーナリストの「眼」で解き明かす福井県人も知らなかった福井県、そして世界の先端を豊富な映像とともに語ります。

企画教員 山根 一真／福井県立大学客員教授（2022年5月就任）ノンフィクション作家、年縞博物館特別館長、福井県交流文化顧問

対象者 高校生・大学生・一般

講座形式 オンデマンド

第1回 年縞博物館が全国5700の博物館で「No.1」を受賞できた超科学力と世界力

第2回 北陸新幹線開業と新北陸トンネルの建設Part.1

第3回 北陸新幹線開業と新北陸トンネルの建設Part.2

5月配信



地域経済分析システム（RESAS）から 福井の地域政策を考える

地域経済分析システム（RESAS）は、インターネット上で、全国の自治体の人口や産業などの特徴を各種のマップで示し、政策立案を支援するものです。本講座では、RESASの使い方、各種マップの見方について解説するとともに、福井の人口減少対策や産業振興策について一緒に考えたいと思います。

企画教員 松原 宏／地域経済研究所長 特命教授

対象者 高校生・大学生・一般・専門分野関係者（地理教員・政策担当者）

講座形式 Zoom

第1回 RESASから福井の人口減少対策を考える

日時：6月24日(土) 13:30～15:00

第2回 RESASから福井の産業振興策を考える

日時：7月1日(土) 13:30～15:00

第3回 RESASから福井の観光振興策を考える

日時：7月8日(土) 13:30～15:00

説明の後、皆様方にインターネットでRESASにアクセスして、各種マップをダウンロードし、ワードもしくはパワーポイントに画像を貼り付け、考察を加える作業をしていただき、議論ができればと考えています。

神と紙の里の匠たち —世界に広がる越前和紙の神髄

福井学シリーズ



福井県立大学
Fukui Prefectural University

「神と紙の里」としての越前和紙の世界、これは日本の古来からの伝統を守るというイメージの強い世界です。しかし今日、この里には、これまでの和紙の伝統とは何かを根本的に問い直すような新たな活動が行われ始めている。芸術とデザインを強調する新しい息吹の一端を紹介いたします。

企画教員 杉村 和彦／学術教養センター 教授

対象者 小学生・中学生・高校生・大学生・一般・専門分野関係者（和紙関係者など）

講座形式 Zoom

第1回 匠が語る職人哲学

日時：6月1日(木) 19：30～21：00

講師：岩野 順市／岩野 市兵衛製紙所
杉村 和彦／学術教養センター 教授
増田 頼保／県立大学非常勤講師・画家・和紙造形作家

第2回 和紙のソムリエが語る世界戦略

日時：6月8日(木) 19：30～21：00

講師：杉原 吉直／有限会社 杉原商店 代表取締役社長
杉村 和彦／学術教養センター 教授

第3回 職人アーティストが語る飛龍ワールド

日時：6月15日(木) 19：30～21：00

講師：長田 和也／株式会社 長田製紙所 代表取締役社長
杉村 和彦／学術教養センター 教授

第4回 創作和紙の匠が語る色彩造形

日時：6月22日(木) 19：30～21：00

講師：瀧 英晃／株式会社 滝製紙所 代表取締役社長
増田 頼保／県立大学非常勤講師・画家・和紙造形作家

第5回 越前和紙とアメリカ和紙文化の架け橋

日時：7月6日(木) 19：30～21：00

講師：ニコラス・クラディス／IOWA大学 講師
増田 頼保／県立大学非常勤講師・画家・和紙造形作家



福井の偉人と観光

本講座は、福井が生んだ偉人と観光地を巡る旅の愉しみを考える。まず、第1回は、杉田定一に焦点を当てる。彼は明治から昭和初期にかけて企業家・政治家・篤志家として活躍した。その杉田の福井における足跡に注目し、あわら温泉地区に対する貢献と学術的意義に迫る。そして、第2回は、釈宗演を取り上げる。釈は若狭で生まれ、明治・大正期に生きた禅僧であるが、日本人の僧侶として初めてZEN（禅）を世界に広めたことで知られる。彼が歩んだ人生の旅路を北陸の名所・旧跡との関係性から読み解く。

企画教員 山崎 茂雄／経済学部 教授

対象者 高校生・大学生・一般

講座形式 オンデマンド

第1回 杉田定一とあわら温泉

日時：9月配信

講師：小林 和夫／あわら市中央公民館主任

第2回 釈宗演と北陸の旅

日時：9月配信

講師：山崎 茂雄／経済学部 教授